

令和6年第8回稲城市教育委員会定例会

1 令和6年8月6日、午前11時00分から、稲城市中央文化センター ホールにおいて、令和6年第8回稲城市教育委員会定例会を開催する。

1 出席委員は、次のとおりである。

杉本 真紀子（教育長）
吉田 伸幸
三戸 美代子
北川 英一
白井 妙子

1 出席説明員は、次のとおりである。

教育部長	佐藤 知子
教育指導担当部長	岸 知聡
教育総務課長	涌田 恵一郎
学務課長	佐藤 由美子
指導課長	長澤 慎哉
生涯学習課長	工藤 紀
学校給食課長	中島 英
図書館課長	久野 由人

1 職務のため出席する職員は、次のとおりである。

教育総務課教育総務係長 古川 直広
教育総務課教育総務係 加藤 千佳

1 会議に付された事項は、次のとおりである。

- (1)日程第1 会議録署名委員の指名
- (2)日程第2 会期の決定
- (3)日程第3 教育行政報告
- (4)日程第4 第34号議案
「令和6年度教育費補正予算（第2号）の提出について」
- (5)日程第5 第35号議案
「令和7年度使用稲城市立中学校教科用図書の採択について」
- (6)日程第6 第36号議案
「令和7年度使用稲城市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について」
- (7)追加日程第1 第37号議案
「稲城市教育委員会委員の辞職同意について」

教育長 　ただ今から、令和6年第8回稲城市教育委員会定例会を開催いたします。

　それでは、日程第1　本日の「会議録署名委員」についてお諮りいたします。

　会議録署名委員については、教育長指名といたしたいと思います。ご異議ございませんでしょうか。

（ 異議なしの声あり ）

教育長 　ご異議なしと認めます。よって、本日の会議録署名委員は、北川委員にお願いいたします。

　次に、日程第2「会期の決定」についてお諮りいたします。本定例会の会期は、本日1日とすることにご異議ございませんでしょうか。

（ 異議なしの声あり ）

教育長 　ご異議なしと認めます。よって、会期は、本日1日と決しました。

　次に、日程第3「教育行政報告」です。教育行政報告につきましては、各課長より報告いたします。

〔 教育行政報告 〕

教育総務課長 　1　教育委員会後援名義について
2　寄附について
3　令和6年7月東京都市教育長会庶務課長会定例会について
4　第3回　第四次稲城市教育振興基本計画策定委員会について
5　学校開放事業について

学務課長 　1　学校教育法施行令第20条に基づき通知された児童・生徒数について
2　令和6年度第1回東京都市学事・保健・給食担当課長会定例会について
3　学校給食費未納者への対応について
4　令和6年度児童・生徒数・学級数（7月1日現在）について

指導課長 　1　担当者事業について
2　推進事業について
3　研修事業について
4　その他について
5　教育センター関係について

- 生涯学習課長
- 1 社会教育委員関係について
 - 2 社会教育活動の振興について
 - 3 芸術文化活動の振興について
 - 4 文化財の保護と普及について
 - 5 生涯学習推進事業について
 - 6 放課後子ども教室参加状況（6月分）について
 - 7 公民館主催事業の実施状況について
 - 8 iプラザの主な主催事業の実施状況について
 - 9 生涯学習課利用統計について（公民館6月分、iプラザ5月分）

- 学校給食課長
- 1 1学期の学校給食終了について
 - 2 令和6年度第1回東京都市学事・保健・給食担当課長会定例会について（再掲）
 - 3 食育講演会について
 - 4 第2回多摩地区学校給食共同調理場連絡協議会献立研究部会について
 - 5 施設見学について
 - 6 試食会について

- 図書館課長
- 1 市主催事業について
 - 2 中央図書館主催事業（SPC運営）について
 - 3 分館主催行事について
 - 4 城山体験学習館の主な事業について
 - 5 学校との連携について
 - 6 図書館の利用状況(令和6年6月)について

教育長 教育行政報告が終わりました。

本日は議事進行の都合により、追加日程第1 第37号議案を先に行い、その後、日程第4 第34号議案から日程第6 第36号議案を行うことといたします。

それでは、追加日程第1 第37号議案「稲城市教育委員会委員の辞職同意について」及び日程第4 第34号議案を議題といたします。

第34号議案は予算案件、第37号議案は人事案件であることから非公開審議といたしたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

（異議なしの声）

教 育 長 ご異議なしと認めます。よって、第34号議案及び第37号議案は非公開審議といたします。

これより非公開審議に入りますので、関係者以外の退席を求めます。

また、はじめに第37号議案を審議いたしますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第6項に基づき、三戸委員の退席を求めます。

なお、日程第5 第35号議案「令和7年度使用稲城市立中学校教科用図書採択について」は、午後1時10分より審議を行う予定です。

暫時休憩いたします。

(暫時休憩)

※三戸委員及び関係者以外の職員と傍聴者は退席する

(これより第37号議案は非公開審議)

非公開審議

(これにて第37号議案の非公開審議は終了)

(暫時休憩)

※ 退室した職員と傍聴者が入室する。(三戸委員は除く。)

教 育 長 再開いたします。

これより、第37号議案「稲城市教育委員会委員の辞職同意について」を採決いたします。

本案を原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

(挙手全員)

教 育 長 挙手多数であります。よって、第37号議案は原案のとおり可決いたしました。

続いて、第34号議案の非公開審議に入ります。

三戸委員の入室、関係者以外の退席を求めます。

暫時休憩いたします。

(暫時休憩)

※三戸委員入室する。

※傍聴者は退室する

(これより第34号議案は非公開審議)

非公開審議

(これにて第34号議案の非公開審議は終了)

(暫時休憩)

※傍聴者が入室する。

教育長 再開いたします。

これより、第34号議案「令和6年度教育費補正予算(第2号)の提出について」を採決いたします。

本案を原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

(挙手全員)

教育長 挙手全員であります。よって、第34号議案は原案のとおり可決いたしました。

暫時休憩いたします。これより、昼食休憩とします。再開を午後1時10分とします。

(暫時休憩)

※昼食休憩

教育総務課長 再開に先立ちまして、皆様方にご案内申し上げます。

お手元の傍聴券の裏面に傍聴に当たる注意事項を記載しておりますが、会議中は、みだりに席を離れないようお願いいたします。

また、会議内容について、拍手等により、可否を表明しないようお願いいたします。

携帯電話等をお持ちの方は、音のならないようにご設定いただきますようお願いいたします。災害発生等、緊急時には係員がご案内いたしますので、その場でお待ちいただきますようお願いいたします。

それでは、教育長お願いいたします。

教育長 再開いたします。

これより、日程第5 第35号議案「令和7年度使用稲城市立中学校教科用図書の採択について」を議題といたします。

本案につきましては、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する

法律及び同法施行令の規定により、令和7年度使用稲城市立中学校教科用図書採択を行う必要があるため、提出するものです。

なお、本日出席の私及び各教育委員におきましては、「令和7年度使用稲城市立中学校教科用図書採択要領『6留意事項（2）次の各項に該当する者は採択に関与することができない。』」との規定の対象ではないことを確認済みであります。

詳細につきましては、指導課長より説明いたします。

指導課長。

指導課長 それでは、第35号議案、令和7年度使用稲城市立中学校教科用図書の採択につきまして、ご説明申し上げます。

まず、2ページの議案概要説明書をご覧ください。

令和7年度に稲城市立中学校で使用する教科用図書の採択は、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条及び同法施行令第14条により、当該教科用図書を使用する年度の前年度の8月31日までに行うことが必要です。

このため、令和7年度、稲城市立中学校において使用する教科書を採択するものです。

このことにつきましては、本年4月15日の第4回教育委員会定例会におきまして、令和7年度使用稲城市立中学校教科用図書採択要領のとおり採択事務を進めることとして決定をいただきました。

4月24日に教科用図書審議会に諮問を行い、教科用図書審議会は調査研究委員会による研究報告に基づき教科用図書について審議を行い、その結果について7月26日に答申を行っております。

この答申を受け、教育委員会におきまして、令和7年度に使用する教科用図書について検討・協議し、16ございます種目ごとに教科用図書を1種採択することとなっております。

以上が議案の説明でございます。ご審議のほど、よろしく願いたします。

教育長 以上で提案理由の詳細説明が終わりました。

まず、委員の皆様におかれましては、本日まで、各種目の採択候補本について、稲城市立中学校教科用図書審議会答申を参考に、適正かつ公正な採択ができるよう、調査研究を行っていただきました。深くお礼を申し上げます。

本日は、その調査研究の結果としてのご意見を賜りながら、採択を行ってまいります。

なお、採択に当たりましては、「審議会答申」をはじめ、現行「学習指導

要領」、「稲城市教育大綱」、「稲城市立小・中学校教科用図書採択についての方針」、「第三次稲城市教育振興基本計画」、「中央教育審議会答申『令和の日本型学校教育の構築を目指して』」、「第四期教育振興基本計画」等、近年の国の動向、並びに、先に実施いたしました教科書見本展示会アンケート等も踏まえ、多様な視点から、稲城の子ども達がこれからの社会に活躍できる力を身に付けることを目指した採択を行いたいと考えます。

また、教師にとって扱いやすいことも大切な視点ととらえますが、まずは、稲城市の生徒にとって学びの充実につながるという視点を重要視したいと考えます。

それでは、各委員から種目ごとに意見をいただき、質疑の後に採択を行ってまいります。

採択方法につきまして、ご意見がございましたらお願いいたします。

(意見なし)

教育長 ご意見がございませんので、従前と同じく種目ごとに無記名投票でいたしたいと考えますが、これにご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

教育長 それでは、採択方法は無記名投票といたします。
各委員には、採択に適すると判断する発行者1者に投票していただきます。

投票の結果、最も票数の多い発行者1者を採択することといたします。
なお、同数票の場合は、教育長により決定することといたします。
これにご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

教育長 ご異議なしと認めます。
次に、各委員からご意見をいただき、質疑を行ってまいります。各委員におかれましては、調査研究に基づき、特にご意見のある種目について、まとめてご発言ください。その後、各委員のご発言ごとに、質疑を行います。

発言の順は吉田委員、三戸委員、北川委員、白井委員、最後に私という順で進めてまいります。

それでは、吉田委員、よろしくお願いいたします。

吉田委員 それでは、初めに国語について、申し上げたいと思います。

どの発行者でも、これから身につけたい能力を明確に示し、どの教材を使って、どのように学ぶかを丁寧に説明しています。特に、光村図書出版では、二次元コードが豊富に掲載され、話し合い活動も充実した内容になっていると感じました。

次に、書写です。書写においても光村図書出版では、デジタル資料の活用方法が丁寧に説明されているところが、生徒にとっても教員にとっても使いやすくなっていると感じました。中でもアニメーションを使った教材に関しては、生徒の学習意欲の高まりが期待できるとともに、授業の導入等で活用できると考えます。

次に、社会（地理的分野）です。どの発行者も教科書の冒頭に学習の進め方についてまとめたページがあり、教科書を使って学習できる内容になっていることが分かりました。構成上の工夫として、帝国書院は写真の鮮明度が高く資料も見やすいので、生徒が必要な情報を読み取りやすいのではないかと感じました。

次に、社会（公民的分野）です。私は、帝国書院が稲城市の多摩川清掃活動の様子を掲載していることに注目したいと思います。身近な地域の取り組みが掲載された教科書で学ぶことは、自らと社会との関係を考察するきっかけになる効果が期待されると考えます。稲城市の内容が掲載されていることにより、生徒も教員も公民の学習に興味関心が高まるのではないのでしょうか。

次に、社会（地図）です。地図は社会の入り口として客観的に地図を見ただけで、その国の大まかなことが分かるものが望ましいと考えます。また、地理的なことだけでなく、地域社会や近隣国との関係性も理解できる地図であることを採択の視点にしたいと思います。2者を比較しますと、東京書籍は資料に関する工夫や量が充実しており、帝国書院は一般図、鳥瞰図を対比するように掲載することで、地図としての見やすさを重視していると感じました。

次に、数学です。東京書籍は学習した内容を基に、新しい内容を生み出したり、発展させたりする内容や、数学が身近にあって、その有用性を感じられる日常や社会と数学とのつながりを示すMATH CONNECTのアイコンがページにあるのが、生徒に数学を学ぶ意味を感じさせるのに効果的だと思いました。また、数式の過程をフラッシュカードで確認することで、生徒が知識・技能を習熟するのに役立つと感じました。

次に、理科です。どの教科用図書においても二次元コードのデジタルコンテンツが充実しております。また、学びの振り返りや家庭学習への活用という視点でどの教科書が適しているのか、ということも重視して考えました。その点からすると、文字の大きさや自宅での学習に活用できる内容

が豊富なものが望ましいと考えます。生徒が興味を持つような内容の構成も望ましいと考えました。

次に、音楽（器楽合奏）です。どちらの発行者も和楽器に触れており、伝統文化への理解が進むものと考えます。特に和楽器では、演奏も大事ですが作法を忘れてはならないものであります。その意味では、教育芸術社では、礼儀作法について取り上げていることは活用しやすいものであると考えます。楽器を演奏する上で、生徒に対して難易度を上げることも必要ではありますが、試行錯誤しながら演奏できるように工夫して学習することも必要であると考えます。

次に、技術・家庭（技術分野）です。技術に興味・関心を持たせるための工夫は、どの教科用の図書にも取り入れられていると思いました。その中でも、教育図書は製図や設計の内容が充実していて、イラストも分かりやすい等、生徒にとって使いやすい教科書だと思いました。

次に、英語です。東京書籍は、小・中接続期の文法配列として、小学校で学んだ表現を基にして、基礎の定着を丁寧にフォローしている点はよいと思いました。また、カナダの生徒から届くビデオレターに答える形での相手意識を持った発信活動や多様な文化や価値観への気づきを促すダイバーシティメモ、SDGsに関連した豊富な題材が稲城市の取り組みに合っているのではないかと考えました。

最後に、道徳です。日本文教出版はいじめに関する教材が豊富に掲載されており、いじめについて生徒が自分達の問題として主体的に考え、議論できるようにしていると思いました。また、自立や共生、環境と未来をテーマにした教材は、多様性を尊重し合う社会の実現のためのSDGsや多様な生き方について考える内容としてもよいと思いました。二次元コードに関しては、全ての発行者が充実していますが、道徳やワークシート、シンキングツール、心情メーター等、生徒や教員が使いやすい教科書がよいと考えます。

以上でございます。

教育長 それでは、吉田委員のご意見について、質疑のある委員は挙手をお願いいたします。

三戸委員。

三戸委員 理科において、文字の大きさや自宅での学習に活用できるというところを重視されたということでしたが、具体的にはどの発行者が充実しているとお考えでしょうか。

吉田委員 紙面の広いA B判を採用した東京書籍がよいと思いました。文字の大き

さだけでなく自然のダイナミックさや不思議さ、洗練された科学技術等をビジュアルとして表現していることを授業だけでなく、家庭学習で見直したときにも生徒の興味関心が高まる可能性があるのではないかと考えます。

教育長 ほかにはいかがでしょうか。

(なしの声あり)

教育長 それでは、質疑がないようですので、次に三戸委員、ご意見をお願いいたします。

三戸委員 はじめに、国語です。教育出版は、近年の作者等の紹介があり、教科書の内容が生徒にとって親しみやすい記述になっているのではないかと思います。また、全体的な色づかいもよいと感じました。

次に、書写です。書写も教育出版が資料や写真、見本や挿絵が多くあり、構成上の工夫が図られていると感じました。注意点等も分かりやすくなっています。また、国語教科書との関連や他教科に関してレポートやノートの書き方がまとめてあるので、どの教科の学習にも生かすことができると考えました。

次に、社会（地理的分野）です。帝国書院は、資料の見やすさや二次元コードの充実等、全体のバランスがとてもよいと感じています。SDGsに関する具体的な地域事例を多数掲載していることや、対話を通じて学びを深める「アクティブ地理」というもの等のテーマの学習が進めやすいと思います。本市のESDの充実につながるのではないかと考えました。

次に、社会（歴史的分野）です。帝国書院は、ページ右側の年表がインデックス代わりになっており、生徒がとても使いやすいのではないかと思います。また、東京書籍についても資料や写真のレイアウトが大変見やすく親しみやすさがあるという点で優れていると感じました。

次に、社会（地図）です。東京書籍は、明るい色彩の配色で、地図と歴史を関連づけた内容、写真、資料を載せており、帝国書院は、落ち着いた色彩の配色で、日本各地の自然環境、人口、産業、交通の四つの資料、図等が掲載されていて分かりやすいと思いました。

次に、数学です。東京書籍に関しては、問題におけるヒントの取り扱いが、生徒の理解や思考の深まりを助けるものとして有効であると感じました。学校図書は、一つ一つの解説が、教員が板書しているような工夫をしており、視覚的にも生徒が理解しやすいように工夫されていると感じました。

次に、音楽（一般）です。鑑賞では、楽曲の共通性等学びを深められるものや、音楽というものを視覚的に捉える要素があることも重要であると考えます。中学生の発達段階においては、音を楽しむことはもちろん、個々の演奏ができるように、写真や図で分かりやすく示すことも大切だと思います。

次に、美術です。開隆堂出版については、教科用図書審議会からの報告に、作品の細部が見える原寸大の図版や部分の拡大がなされ、生徒が作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図、表し方について感じるができるといった内容が記載されています。美術の教科書は、観賞用としてのデザインも重要であると考えます。表紙等の工夫にもあるように、生徒の感性を引き出す教科書がよいと思います。

次に、技術・家庭（技術分野）です。東京書籍、見出しの工夫があり、全体のレイアウトもまとまっているように感じました。また、問題解決学習の進め方を示し、主体的に学習を進めることができるような工夫がなされていると感じました。

次に、英語です。小学校で学んできていることもあり、それぞれの教科用図書では小学校の学習を土台として取り組みやすい構成になっています。目次についても、各発行者、工夫があって分かりやすいと感じました。

特に、開隆堂出版は、漫画やイラストもあって取りかかりやすい内容になっていると感じました。また、グループでの発表やポスター作成等協働的な学びの場を多く設定し、生徒個人が調べた内容をグループで共有し、プレゼンテーション原稿やポスターを作成する活動を積み重ねることで、多様な意見を尊重し、合意形成を図る学びにつながると感じました。

最後に、道徳です。あかつき教育図書は、いじめに関する教材を充実させるとともに、情報モラルに関する教材も充実していると感じました。インターネットを通じて世界中の人々とつながることができる情報化の時代に、どのように考え、生きていきたいか、様々な視点から考えられるようになっています。

また、多様な学習活動を実現する「マイ・プラス」というページでは、ロールプレイングや話し合い活動を取り入れていて、生徒がいろいろな立場で想像したり考えたりできるようになっている工夫も大変よいと感じました。

以上です。

教育長　それでは、三戸委員のご意見について、質疑のある委員は挙手をお願いいたします。

北川委員。

北川委員 あかつき教育図書の道徳において、多様な学習活動を実現する「マイ・プラス」というページでは、具体的にはどのようなロールプレイングや話し合い活動の設定がよいと思われたのでしょうか。

教育長 三戸委員。

三戸委員 例えば、電車内での出来事に関して、漫画に出てくる登場人物になったつもりで、それぞれの気持ちを考えたり、実際にやり取りを再現したりして、どのような思いを持てば電車内が気持ちよい空間になったのかを話し合う活動等、設定が非常によいと思いました。

以上です。

教育長 ほかにいかがでしょうか。

(なしの声あり)

教育長 それでは、ほかに質疑はないようですので、次に北川委員、ご意見を願います。

北川委員 はじめに、国語です。私は、光村図書出版の学びの資料が工夫されていて、特に話し合い活動に役立つ内容がよいと思いました。C B Tにも対応したQRコンテンツ、これは個別最適な学びにも有効であると思います。学びの流れが分かる資料が充実していて、このことは授業づくりにも役立ち、教員の働き方改革の視点からも効果的ではないかと思えます。

次に、書写です。全教材に学習の進め方が三つのステップで示されている光村図書出版、これは生徒が学習の見通しを持つために有効だと思いました。また、「行書スイッチを入れよう」というページでは、行書の特徴を視覚的に示すことで、生徒の苦手意識に対してサポートするような工夫になっていると感じます。また、書き初め等お手本が原寸大で学習しやすいのではないかと思いました。

次に、社会（地理的分野）です。各発行者ともユニバーサルデザインに配慮した紙面になっていると感じました。

中でも帝国書院は、図表、写真、これらの色調が鮮明であると感じました。また、多様な視点からの理解や、思考を深めるような工夫がなされているように思います。ほかの発行者と比較して、軽量化が図られているところも特徴があると思いました。このことについては、市民のアンケートに教科書が重過ぎるという意見もありましたので、生徒の教科書の持ち運びに配慮しているということは、採択の際のポイントにもなると思います。

次に、社会（歴史的分野）です。東京書籍、帝国書院、日本文教出版は、年表の扱いがページの右側に縦に示されており、歴史を俯瞰的に捉えられるのではないかと思います。

帝国書院は、写真や資料が充実していて、コラムの内容も多様だと感じました。また、歴史の捉え方として、論争がある内容を取り上げていて、多面的・多角的な学びの深まりや、多面的・多角的な事象の把握に基づいた判断力を養っている点で帝国書院がよいと感じました。また、帝国書院は、地理と同様、軽量化が図られていると思います。

学び舎は、見出しのタイトルが学びに向けた動機づけに有効だと感じました。

次に、数学です。学校図書はQRコンテンツが非常に豊富で類似の問題が多く出てきます。また、二次元コードから生徒がチャットで質問するという、教科書アドバイザー「マスマス!」。これは生徒の自由な質問にチャットボットが答えることになっていて、ICTを利用した主体的な学びにつながるのではないかと思います。

東京書籍は、問題のところの二次元コードを見ると、解答がすぐに出てこずに、初めにヒントが出てくるように工夫されています。単に正解を読んで理解するのではなく、その前に自ら考えられるように工夫されていると思いました。

次に、理科です。大日本図書は、探究の型が分かりやすいモデルで定型化されていて、科学的な思考の育成に効果的で、生徒の主体的、対話的で深い学びを推進するために有効であると考えます。

どの教科書も小单元ごとに「めあて」を設定していますが、東京書籍は、必ず学習後に「めあて」に対してまとめてみようというアウトプットがあるところがいいと思います。

学校からの意見で、物化生地等、単元の順番についての意見をいただきましたが、私も急ぎ足になりそうな年度末に難しい内容が来ないように、単元の順番を考慮したほうがよいと思います。

次に、音楽（器楽合奏）です。両発行者とも楽曲の選定や和楽器の学習についての記載等、よく工夫されていました。教育出版は、見開きごとに学習の見通しが立つような工夫がなされており、演奏時の構え方や楽器の構造等についての写真を大きく掲載しています。教育芸術社は、演奏上、平易な楽曲からやや難易度の高い編曲のものもあり、また、楽器の操作についての写真が分かりやすく、生徒の理解や意欲を高めるのに有効ではないかと思いました。

次に、保健体育です。Gakkenと大修館書店には、自撮り画像送付についての記述があります。少なくない子ども達が自撮り画像を送らされて被害に遭っていることが、今、報道されているわけですが、こういうことを考

えると、ピンポイントではありますが、この記述があることは重要と思いました。さらに、大修館書店では、生徒の多様性やジェンダーの記述が詳しく、教科書を使用して生徒が様々な視点から考えることができ、広い意味での性教育の充実につながるのではないかと考えます。

次に、技術・家庭（家庭分野）です。東京書籍は、問題発見、課題設定のヒントになるキャラクターのせりふが生徒の学習の助けになると思いました。また、二次元コードからのワークシートや献立のシミュレーション等QRコンテンツが大変充実しており、意見交換によって考えを深めることにも活用でき、生徒の多様な学びを支えると感じました。

教育図書は、どの領域も基本の部分を押さえており、特に食生活に関しては、食品群ごとの概要が多く扱われています。

最後に、英語です。三省堂は教材のテーマに一貫性が感じられます。デジタルコンテンツが多様で多く、このことは生徒の主体的な学びにも有効だと思います。現在、小学校において三省堂の教科書が使用されています。小・中学校の学習の連続性という視点も考慮すべきではないかと考えます。特に英語では、小学校での学習から中学校への学習へのスムーズな接続という意味で、どの教科書が適切かということも教科書選定の視点として持つことも大切ではないかと思いました。

以上です。

教育長 それでは、北川委員のご意見について、質疑のある委員は挙手をお願いいたします。

白井委員。

白井委員 三省堂の英語において、教材の一貫性や小・中学校の連続性があるというご意見でしたが、そのことについて、もう少し詳しく教えていただけますでしょうか。

教育長 北川委員。

北川委員 教材の一貫性については、一つのレッスンが四から五つのシーンで構成されています。その中で、小学校で慣れ親しんだキャラクター達によるストーリーを楽しみながら英語表現や文化について学んでいくところや、レッスンの最後にGoal Activityという、話すこと、書くこと、読むことの三つの活動が設定されているこの部分を好意的に思います。

また、小・中学校との連続性については、1年1学期に学習すべきレッスンが、小学校で培った聞く力と話す力を最大限に生かすことで、中学校での学びにつなげる構成となっています。

教育長 ほかにいかがでしょうか。

(なしの声あり)

教育長 ほかに質疑ないようですが、一つ教えてください。先ほど、理科のご説明のところで、単元の順番ということで、「物化何々」とおっしゃっていたと思いますが、それをもう一度教えていただけますか。

北川委員。

北川委員 「物化生地」です。物理、化学、生物、地学。この順番によって、後に難しい科目がきますと、最後は駆け足になってなかなか理科が十分に理解できない、ということも考えることが必要であると考えました。

教育長 ありがとうございます。物理、化学、生物、地学の略称ということでしょうか。はい、分かりました。

それでは、次に、白井委員、ご意見をお願いいたします。

白井委員 はじめに、国語です。私は、教育出版の近年活躍している作者を取り上げているところが、生徒の興味・関心につながるのではないかと思いました。また、教材で身につけたい力や、学習活動の重点を示している「学びナビ」は、生徒の主体的な学びを引き出すために効果的だと感じました。

次に、書写です。光村図書出版では、国語の指導内容との関連が分かりやすくなっており、内容に工夫があると思いました。デジタル資料の活用方法も記載されているので、個別最適化の視点からも扱いやすくなっていると感じました。

次に、社会（地理的分野）です。どの発行者でもSDGsに関係する特集ページを用意しています。また、デジタルコンテンツも適切に用意されています。

中でも帝国書院は、單元ごとに二次元コードが設定されていて、必要な補充資料等を用意しています。情報が刻一刻と変化する中で、今後は最新のデータを更新して使用できるようになると、生徒の学習によい影響を与えることになると思います。

次に、社会（公民的分野）です。帝国書院は、資料のレイアウト、稲城市の資料、他分野との関連等もとてもよいと感じました。各発行者ともに、多面的・多角的な考察や、思考、判断したことを説明・議論するといった活動を充実させるための工夫をしていますが、特に教育出版と帝国書院については、丁寧に確認する課題と表現する課題が掲載されていると感じま

す。

次に、数学です。二次元コードの活用でいうと、東京書籍、学校図書、新興出版社啓林館、数研出版等は、図形の単元等で積極的に活用できるコンテンツであると思いました。特に、東京書籍は、インターネットコンテンツ内に補充問題や参考資料、アニメーションによる説明等が充実していて、生徒が自主的に学習する際にも参考になるデータが充実していると思いました。

次に、理科です。学校図書、新興出版社啓林館、教育出版は、実験の流れが段階ごとに分かれていて、見やすく分かりやすい構成になっています。特に大日本図書は、実験の手順が分かりやすく示されているのがよいと思います。

また、大日本図書、新興出版社啓林館、東京書籍は、単元の終わりに学習した内容を整理したページがあって、重要語句等を確認することができるのもよいと思いました。

次に、音楽（一般）です。両発行者とも、表現教材、鑑賞教材ともに充実していると思いますが、教育芸術社は比較的、現代的な楽曲を掲載していると思います。生徒が日常的に慣れ親しんでいる楽曲を題材にすることで、生徒の学習意欲につながる面もあるのではないかと考えました。

次に、美術です。開隆堂出版は、見て、触って、楽しめる表紙の工夫や多彩な鑑賞の仕方を提案する紙面、原寸掲載でより豊かな鑑賞を意識した作りが、美術の教科書として適していると感じました。また、美術の学習が身近なSDGsの活動や、豊かな社会の創造につながっていることを意識した資料ページも本市の教育に合っていると考えました。

次に、保健体育です。どの教科書も生徒の興味関心を引く内容で構成されていると感じました。その中でも、調査研究委員会の報告にもあるように、保健分野を先に取り扱っている東京書籍は、授業の実態に合った内容になっているのではないかと思います。また、生活習慣病についても多く扱っているところも、現代的な課題について生徒に考えさせる内容になっていると感じました。

次に、技術・家庭（家庭分野）です。東京書籍は、生徒の興味・関心を引き出すダイナミックな写真が印象的でした。調理実習においては、出来上がりの料理が鮮明な写真で示されることによって、実際の活動の意欲につながると考えます。また、「わたしの知りたいこと、できるようにになりたいこと」という課題設定の欄を設けていることにより、ただ活動に取り組むだけでなく目的意識を持って取り組めるような工夫がよいと思いました。

次に、英語です。三省堂は対話練習を事例として、実生活で見聞きしている身近な語彙が多く使われているので、生徒の興味関心を引きやすいと

考えます。また、リスニングにおけるスクリプトの活用は、生徒の聞くことの力と書くことの力を一体的に育成することができると思いました。
以上です。

教育長 それでは、白井委員のご意見について、質疑のある委員は挙手をお願いいたします。

(なしの声あり)

教育長 それでは、質疑がないようですので、次に私から意見を申し上げます。
はじめに国語です。教育出版について、各学年ともに、日本の文豪について特集しているページがありまして、生徒の将来に向けた学習活動につながっていくものと考えました。また、本発行者については、「ベンチ」や「夏の葬列」といった、ほかの発行者に見られない教材選定といった特徴も見受けられますが、長年、本発行者では、これらを扱っており、広くこれらの教材価値が理解されてきているものであると考えます。

また、光村図書出版については、特に各学年の巻末の資料部分が充実しており、多様な学びが可能であること、また、SDGsについて各教材や学習活動から関連づけのあるような工夫がなされていると思いました。

次に、書写です。教育出版については、古典文学のなぞり書きがある等、国語の学習との関連が図りやすいこと、また、行書の習得に効果的な工夫がなされていると感じました。

次に、光村図書出版について、原寸大の手本が掲載されており、生徒が書写に取り組みやすく、また書道作品を鑑賞するという視点からも効果的であると考えます。

次に、社会（地理的分野）です。社会のほかの分野についても共通していますが、東京書籍と教育出版は、ページを開いた際に本文箇所と資料箇所の色を分けています。社会の授業は教科書のほか、教室前面の黒板や画面、生徒自身のタブレット、ほかの生徒との共同活動等視点が様々に動く中、教科書については学習の該当箇所を見つけやすいというものがよいのではないかと思います。また、その点から両発行者を比較しますと、東京書籍のほうが整理されたページ構成となっており、より扱いやすいのではないかと思います。

次に、社会（歴史的分野）です。東京書籍につきましては、地理的分野と同様に、ページ構成という点から見やすく扱いやすいと考えます。

帝国書院は、写真や絵等の資料が充実しておりまして、特に数か所ある「タイムトラベル」という見開き2ページの箇所が各時代の様子を描いた美しくて細かな絵から、生徒が自ら主体的に創造と思考を深められ、文字

を読むことや歴史学習に苦手意識を持つ生徒を歴史好きにするような工夫がなされています。加えて、巻頭の箇所にあるSDGsと歴史的事実とをつなげる特集からは、歴史は現代に、そしてさらには将来につながっていくのであるとの認識を深めることができるのではないかと考えました。

育鵬社につきましては、中学生が、日本が作られてきた経緯や、日本の文化芸術が海外に与えた影響等について、誇りを持って振り返り、将来、多様な海外の人々と自信をもって渡り合えるような大人を育成する工夫がなされていると思います。さらに、二宮尊徳の功績ですとか、ほかの自治体ではありますが市歌、市の歌ですね、の価値を考える箇所もある点において、稲城市における学びの上で効果があるのではないかと考えます。

次に、社会（公民的分野）です。東京書籍につきましては、地理的分野、歴史的分野と同様にページ構成という点から見やすく扱いやすいと考えました。

帝国書院につきましても、歴史的分野と同様に、図や表が丁寧で細かです。町の様子を鳥瞰して、俯瞰して眺めながら、考察するというようなページが数か所ありますが、私は昨年度、稲城市立の小学校を参観した際に、授業がキャリア教育として、このページと同じような絵を見ながら社会に必要な職業について協働的な学びに取り組んでいたことが想起されました。そういったことから、このようなページは学びを深める工夫がなされていると感じたところです。

また、各発行者ともに、巻頭に「公民を学ぶ意義」について記載されていますが、私は特に教育出版と育鵬社について丁寧で分かりやすいメッセージであると感じました。育鵬社につきましては、歴史や地理との関係についても図を用いて、さらに考察を深めやすい工夫がなされているのではないかと思います。

次に、数学です。東京書籍につきましては、解答を出すまでのプロセスを丁寧にたどったり、ヒントを提示したり、また、考え方を比較したりといった段階を踏みながら、問題に取り組むような工夫が見られました。

また、教科書展示会アンケートの中で市民の方から、数学は実生活との関わりを持っている教科書がよいとのご意見をいただきまして、私もそのとおりであると思います。その点につきましては、どの発行者も意識していると思いますが、特に東京書籍につきましては、乗り物の座席割り振りや部活動の場面等、中学生が仲間とともに主体的に行動する場面が想定されていると感じました。

また、新興出版社啓林館につきましては、数学に関するコラムが充実してありまして、学びながら数学というものの意味を考えることのできる工夫がなされていると感じました。

次に、理科です。大日本図書につきましては、各実験がコンパクトに1

ページに収められ、また、枠をつけられていて、実験と考察の段階を区別して認識しやすいと思いました。また、巻末には、ほかの教科とのつながりについて説明する箇所もあり、本市が充実させたいSTEAM教育についても意識をされていると思いました。加えて、装丁がB5判サイズであり、実験等の際に扱いやすい配慮もなされていることを感じました。

また、学校図書につきましては、写真が見やすく、生徒が理科の学習に興味関心を持てる工夫がなされており、また、巻末の資料が大変充実していて、個別最適な学びにも資するであろうと考えました。

次に、美術です。開隆堂出版につきましては、現代社会や新しい情報を踏まえ、中学生の興味関心を引く工夫がなされています。

また、日本文教出版につきましては、展示会のアンケートの中にも、裏表紙と表表紙を広げると大きな鑑賞作品となり、生徒の関心を引くと思いますという市民の方からのお声がありました。そのとおりと思いました。表紙から教科書全体が美術的センスを特に意識している教科書であると感じました。また、有名シンガーソングライターや著名な分身ロボット発明者が登場して、発想や創造というものの価値についてのメッセージを発したり、また、町づくりについてのページがあったりと、中学生の興味関心を引く工夫がなされていると感じました。

次に、保健体育です。東京書籍につきましては、資料が充実して、特に巻末の資料については、振り返りに活用できるということが特徴的な点として挙げられると思います。

また、Gakkenにつきましては、優しい色調や見やすい構成を意識していると感じました。

次に、技術・家庭（技術分野）です。東京書籍は、作業について説明するページについて、絵ですとか図や、また、説明が大変分かりやすく構成が整えられていて、使用しやすいと感じました。巻末には、「Society5.0」を提示しており、技術科の学習が将来にどうつながっていくのかを分かりやすく示しています。

また、教育図書につきましては、表表紙をめくると見開きで「技術（Technology）を見つけよう！」という課題提示がされていて、まずは、最初の表表紙はそのようにスタートをして、そしてページをずっと全部めくって行って、3年間の学びを終えて、今度、裏表紙の手前の見開きでは、「未来の社会を創造しよう！」と、その表表紙の裏と裏表紙の手前のそれぞれの見開きの両者が呼応しているという点が教科書全体のストーリー性を感じました。また、スキルアシストという別冊があるんですが、実技の授業にふさわしいガイドブックであると感じました。

次に、技術・家庭（家庭分野）です。まず、発行者3者の表紙を見ますと、いずれも技術・家庭（家庭分野）の表記に加えサブタイトルが提示さ

れています。東京書籍は、「自立と共生を目指して」、教育図書は、「暮らしを創造する」、開隆堂出版は、「自立しともに支え合う生活へ」とあります。私は、持続可能な社会の担い手を育成するという視点から、この点については東京書籍や開隆堂出版がよいと考えました。加えて、東京書籍につきましては、図や写真や説明文が丁寧で、生徒個々の理解のペースに応じ、活用できると感じました。また、教育図書につきましては、小項目のタイトルが、「栄養素の種類と働きを知ろう」、「契約の意味を考えよう」等、生徒に課題を投げかけるような言葉で統一されていて、生徒の問題意識を持ちながら学習に取り組める工夫がなされていると感じました。

次に、英語です。教育出版と光村図書出版は、型がほかの発行者に比べてやや小さく、持ち運びしやすいと思います。英語の授業は教室内を動きながらコミュニケーション活動をする場面が多くなっていますことから、手軽な装丁は重要視したいと思います。

加えて、教育出版につきましては、海外の中学生とのオンライン交流ですとか、また「My Original Sign」といった自らの発想を基に英語スピーチをする場面、また、職場体験や社会課題等を題材としており、本市が力を入れている教育活動にマッチし、しかも魅力的な題材が多いと感じました。

最後に、道徳です。東京書籍と光村図書出版は、巻末に小学生のときに学んだ道徳と読み物資料があり、生徒が中学生となった現在の自分自身の見方、考え方と比べることにより、自らの成長を振り返る効果があると思います。特に、東京書籍は、このような教材を用いて小学生と一緒に道徳を学ぶという設定をされておりまして、小・中の協働的な学びが提案されていると感じました。

また、光村図書出版につきましては、消防団を扱った教材があります。本市の中学生に、ぜひ、考えさせたい課題です。

また、日本文教出版とあかつき教育図書につきましては、目次の箇所に工夫がなされています。日本文教出版は、よりよい社会を考える教材と、いじめと向き合う教材を特に目立つように提示しています。あかつき教育図書は、「『いじめ』を考える」「情報モラル」「キャリア」「共に生きる社会」をテーマとした教材を目立たせています。このような工夫は、生徒が一貫性を持って考えることにつながるのではないかと思います。

また、SDGsに関しましては、東京書籍とあかつき教育図書の巻末の特集がよいと感じました。

以上でございます。

それでは、今、私の申し上げました意見について、質疑のある委員は挙手をお願いいたします。

北川委員。

北川委員 種目、国語についてですが、光村図書出版のSDGsについてのご発言がありましたけれども、審議会答申では教育出版についてSDGs記載の充実が報告されています。両者を比較した考えがあればお聞かせ願いたいと思います。

教育長 SDGsにつきましては、各発行者ともに丁寧に扱っていますが、私は特に光村図書出版につきましては、話す、書くといった主体的な表現活動の際にも参考にできるようなページもありまして、工夫がなされていると感じました。

ほかにいかがでしょうか。

白井委員。

白井委員 種目、書写についてですけれども、教育出版は行書の習得に効果的な工夫がなされているとのことでしたけれども、審議会答申によると楷書と行書の一覧については三省堂について見やすいとのことでありました。教育長は特に教育出版を挙げた理由を教えてくださいませんか。

教育長 答申の中では、三省堂につきましては、楷書、行書の一覧が見やすいとの回答がされています。私は、教育出版につきましては、見やすいよりも学びの効果というものに注目をしました。教育出版は楷書、行書の一覧表の配列を讀みの五十音順ではなく、へんやつくりの画数の少ない順から掲載しております。この点において教育出版は、行書のへんやつくりごとの特徴を把握しやすく、行書を習得しやすいという工夫がなされていると考えました。

ほかにいかがでしょうか。

三戸委員。

三戸委員 種目、美術について、お尋ねします。開隆堂出版は現代社会や新しい情報を踏まえ、中学生の興味関心を引く工夫がなされているとおっしゃいましたが、具体的にはどのような点か教えてください。

教育長 例えば、ヒストグラムをデザインする課題ですとか、また、有名建築家の設計による話題の図書館が紹介されているという箇所が挙げられます。

ほかにいかがでしょうか。

吉田委員。

吉田委員 種目、道徳についてお伺いします。SDGsについて、東京書籍とあか

つき教育図書の巻末の特集がよいとおっしゃられましたが、それぞれの特徴について教えていただきたいと思います。また、どちらのほうがよいと考えているか、教えてください。

教育長 東京書籍につきましては、特設した読み物教材を複数掲載しています。そして、しっかりと持続可能な社会の担い手となることに課題意識を持たせようとしていると思います。あかつき教育図書は、教科書の中で扱ってきた教材を簡単に再度提示し、その上でSDGsのゴールとの関連を示しています。

このような違いがあるんですけど、私は、あかつき教育図書のほうがよいのではないかと考えております。理由は、教科書の中で、終わりのページに行き着くまでの間に学んできた、扱ってきた教材の中で、既にSDGsについて考えてきたことを再度自覚させるような効果がありまして、現実的にSDGsというものは実生活の中で取り組むものであるということと整合するのではないかと考えました。

ほかにいかがでしょうか。

(なしの声あり)

教育長 それでは、ご意見がないようですので、これより、採択候補本の投票を行います。

はじめに、種目「国語」について、採択候補本の投票を行います。事務局より、投票用紙の配付をお願いいたします。

(用紙配付、投票箱の空虚確認)

教育長 投票用紙の記入はお済みでしょうか。

それでは、事務局で投票用紙を回収します。

(投票箱にて回収)

教育長 投票用紙の回収が終わりましたので、事務局で集計をお願いいたします。集計に際しましては、教育長職務代理者である吉田委員の立ち合いをお願いいたします。

投票用紙集計のため、暫時休憩いたします。

(暫時休憩)

教育長 再開いたします。
それでは、種目「国語」について、投票用紙の集計結果報告と採択本の決定を行います。
教育総務課長より、集計結果の報告をお願いします。

教育総務課長 れでは、集計結果をご報告申し上げます。
種目「国語」でございます。
発行者「教育出版」 3票。発行者「光村図書出版」 2票。以上でございます。

教育長 ただ今の集計結果より、種目「国語」は、発行者「教育出版」、書名「伝え合う言葉 中学国語」を採択本といたします。
次に、種目「書写」について、採択候補本の投票を行います。
事務局より、投票用紙の配付をお願いいたします。

(用紙配付、投票箱の空虚確認)

教育長 投票用紙の記入はお済みでしょうか。
それでは、事務局で投票用紙を回収します。

(投票箱にて回収)

教育長 投票用紙の回収が終わりましたので、事務局で集計をお願いいたします。
集計に際しましては、吉田委員の立ち合いをお願いいたします。
投票用紙集計のため、暫時休憩いたします。

(暫時休憩)

教育長 再開いたします。
それでは、種目「書写」について、投票用紙の集計結果報告と採択本の決定を行います。
教育総務課長より、集計結果の報告をお願いします。

教育総務課長 それでは、集計結果をご報告申し上げます。
種目「書写」でございます。発行者「光村図書出版」 3票。発行者「教育出版」 2票。以上でございます。

教育長 ただ今の集計結果より、種目「書写」は、発行者「光村図書出版」、書名

「中学書写」を採択本といたします。

次に、「社会（地理的分野）」について、採択候補本の投票を行います。
事務局より、投票用紙の配付をお願いいたします。

（ 用紙配付、投票箱の空虚確認 ）

教 育 長 投票用紙の記入はお済みでしょうか。
それでは、事務局で投票用紙を回収します。

（ 投票箱にて回収 ）

教 育 長 投票用紙の回収が終わりましたので、事務局で集計をお願いいたします。
集計に際しましては、吉田委員の立ち合いをお願いいたします。
投票用紙集計のため、暫時休憩いたします。

（ 暫時休憩 ）

教 育 長 再開いたします。
それでは、種目「社会（地理的分野）」について、投票用紙の集計結果報告と採択本の決定を行います。
教育総務課長より、集計結果の報告をお願いします。

教育総務課長 それでは、集計結果をご報告申し上げます。
種目「社会（地理的分野）」でございます。発行者「帝国書院」 4票。
発行者「東京書籍」 1票。以上でございます。

教 育 長 ただ今の集計結果より、種目「社会（地理的分野）」は、発行者「帝国書院」、書名「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」を採択本といたします。
次に、種目「社会（歴史的分野）」について、採択候補本の投票を行います。
事務局より、投票用紙の配付をお願いいたします。

（ 用紙配付、投票箱の空虚確認 ）

教 育 長 投票用紙の記入はお済みでしょうか。
それでは、事務局で投票用紙を回収します。

(投票箱にて回収)

教 育 長 投票用紙の回収が終わりましたので、事務局で集計をお願いいたします。
集計に際しましては、吉田委員の立ち合いをお願いいたします。
投票用紙集計のため、暫時休憩いたします。

(暫時休憩)

教 育 長 再開いたします。
それでは、種目「社会（歴史的分野）」について、投票用紙の集計結果報告と採択本の決定を行います。
教育総務課長より、集計結果の報告をお願いします。

教育総務課長 それでは、集計結果をご報告申し上げます。
種目「社会（歴史的分野）」でございます。発行者「帝国書院」 3票。
発行者「育鵬社」 2票。以上でございます。

教 育 長 ただ今の集計結果より、種目「社会（歴史的分野）」は、発行者「帝国書院」、書名「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」を採択本といたします。
次に、種目「社会（公民的分野）」について、採択候補本の投票を行います。
事務局より、投票用紙の配付をお願いいたします。

(用紙配付、投票箱の空虚確認)

教 育 長 投票用紙の記入はお済みでしょうか。
それでは、事務局で投票用紙を回収します。

(投票箱にて回収)

教 育 長 投票用紙の回収が終わりましたので、事務局で集計をお願いいたします。
集計に際しましては、吉田委員の立ち合いをお願いいたします。
投票用紙集計のため、暫時休憩いたします。

(暫時休憩)

教 育 長 再開いたします。

それでは、種目「社会（公民的分野）」について、投票用紙の集計結果報告と採択本の決定を行います。

教育総務課長より、集計結果の報告をお願いします。

教育総務課長 それでは、集計結果をご報告申し上げます。

種目「社会（公民的分野）」でございます。発行者「帝国書院」 4票。発行者「東京書籍」 1票。以上でございます。

教育長 ただいまの集計結果より、種目「社会（公民的分野）」は、発行者「帝国書院」、書名「社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して」を採択本といたします。

次に、種目「社会（地図）」について、採択候補本の投票を行います。事務局より、投票用紙の配付をお願いいたします。

（ 用紙配付、投票箱の空虚確認 ）

教育長 投票用紙の記入はお済みでしょうか。

それでは、事務局で投票用紙を回収します。

（ 投票箱にて回収 ）

教育長 投票用紙の回収が終わりましたので、事務局で集計をお願いいたします。集計に際しましては、吉田委員の立ち合いをお願いいたします。投票用紙集計のため、暫時休憩いたします。

（ 暫時休憩 ）

教育長 再開いたします。

それでは、種目「社会（地図）」について、投票用紙の集計結果報告と採択本の決定を行います。

教育総務課長より、集計結果の報告をお願いします。

教育総務課長 それでは、集計結果をご報告申し上げます。

種目「社会（地図）」でございます。発行者「帝国書院」 5票。以上でございます。

教育長 ただ今の集計結果より、種目「社会（地図）」は、発行者「帝国書院」、書名「中学校社会科地図」を採択本といたします。

次に、種目「数学」について、採択候補本の投票を行います。
事務局より、投票用紙の配付をお願いいたします。

(用紙配付、投票箱の空虚確認)

教 育 長 投票用紙の記入はお済みでしょうか。
それでは、事務局で投票用紙を回収します。

(投票箱にて回収)

教 育 長 投票用紙の回収が終わりましたので、事務局で集計をお願いいたします。
集計に際しましては、吉田委員の立ち合いをお願いいたします。
投票用紙集計のため、暫時休憩いたします。

(暫時休憩)

教 育 長 再開いたします。
それでは、種目「数学」について、投票用紙の集計結果報告と採択本の
決定を行います。
教育総務課長より、集計結果の報告をお願いします。

教育総務課長 それでは、集計結果をご報告申し上げます。
種目「数学」でございます。発行者「東京書籍」 3票。発行者「学校図
書」 2票。以上でございます。

教 育 長 ただ今の集計結果より、種目「数学」は、発行者「東京書籍」、書名「新
編 新しい数学 ～MATH CONNECT 数学のつながり～」を採択本と
いたします。
次に、種目「理科」について、採択候補本の投票を行います。
事務局より、投票用紙の配付をお願いいたします。

(用紙配付、投票箱の空虚確認)

教 育 長 投票用紙の記入はお済みでしょうか。
それでは、事務局で投票用紙を回収します。

(投票箱にて回収)

教育長 投票用紙の回収が終わりましたので、事務局で集計をお願いいたします。
集計に際しましては、吉田委員の立ち合いをお願いいたします。
投票用紙集計のため、暫時休憩いたします。

(暫時休憩)

教育長 再開いたします。
それでは、種目「理科」について、投票用紙の集計結果報告と採択本の
決定を行います。
教育総務課長より、集計結果の報告をお願いします。

教育総務課長 それでは、集計結果をご報告申し上げます。
種目「理科」でございます。発行者「大日本図書」 3票。発行者「東京
書籍」 2票。以上でございます。

教育長 ただ今の集計結果より、種目「理科」は、発行者「大日本図書」、書名「理
科の世界」を採択本といたします。
次に、種目「音楽（一般）」について、採択候補本の投票を行います。
事務局より、投票用紙の配付をお願いいたします。

(用紙配付、投票箱の空虚確認)

教育長 投票用紙の記入はお済みでしょうか。
それでは、事務局で投票用紙を回収します。

(投票箱にて回収)

教育長 投票用紙の回収が終わりましたので、事務局で集計をお願いいたします。
集計に際しましては、吉田委員の立ち合いをお願いいたします。
投票用紙集計のため、暫時休憩いたします。

(暫時休憩)

教育長 再開いたします。
それでは、種目「音楽（一般）」について、投票用紙の集計結果報告と採
択本の決定を行います。
教育総務課長より、集計結果の報告をお願いします。

教育総務課長 それでは、集計結果をご報告申し上げます。
種目「音楽（一般）」でございます。発行者「教育芸術社」 5票。以上
でございます。

教育長 ただ今の集計結果より、種目「音楽（一般）」は、発行者「教育芸術社」、
書名「中学生の音楽」を採択本といたします。
次に、種目「音楽（器楽合奏）」について、採択候補本の投票を行います。
事務局より、投票用紙の配付をお願いいたします。

（ 用紙配付、投票箱の空虚確認 ）

教育長 投票用紙の記入はお済みでしょうか。
それでは、事務局で投票用紙を回収します。

（ 投票箱にて回収 ）

教育長 投票用紙の回収が終わりましたので、事務局で集計をお願いいたします。
集計に際しましては、吉田委員の立ち合いをお願いいたします。
投票用紙集計のため、暫時休憩いたします。

（ 暫時休憩 ）

教育長 再開いたします。
それでは、種目「音楽（器楽合奏）」について、投票用紙の集計結果報告
と採択本の決定を行います。
教育総務課長より、集計結果の報告をお願いします。

教育総務課長 それでは、集計結果をご報告申し上げます。
種目「音楽（器楽合奏）」でございます。発行者「教育芸術社」 5票。
以上でございます。

教育長 ただ今の集計結果より、種目「音楽（器楽合奏）」は、発行者「教育芸術
社」、書名「中学生の器楽」を採択本といたします。
次に、種目「美術」について、採択候補本の投票を行います。
事務局より、投票用紙の配付をお願いいたします。

（ 用紙配付、投票箱の空虚確認 ）

教育長 投票用紙の記入はお済みでしょうか。
それでは、事務局で投票用紙を回収します。

(投票箱にて回収)

教育長 投票用紙の回収が終わりましたので、事務局で集計をお願いいたします。
集計に際しましては、吉田委員の立ち合いをお願いいたします。
投票用紙集計のため、暫時休憩いたします。

(暫時休憩)

教育長 再開いたします。
それでは、種目「美術」について、投票用紙の集計結果報告と採択本の
決定を行います。
教育総務課長より、集計結果の報告をお願いします。

教育総務課長 それでは、集計結果をご報告申し上げます。
種目「美術」でございます。発行者「開隆堂出版」 4票。発行者「日本
文教出版」 1票。以上でございます。

教育長 ただ今の集計結果より、種目「美術」は、発行者「開隆堂出版」、書名「美
術」を採択本といたします。
次に、種目「保健体育」について、採択候補本の投票を行います。
事務局より、投票用紙の配付をお願いいたします。

(用紙配付、投票箱の空虚確認)

教育長 投票用紙の記入はお済みでしょうか。
それでは、事務局で投票用紙を回収します。

(投票箱にて回収)

教育長 投票用紙の回収が終わりましたので、事務局で集計をお願いいたします。
集計に際しましては、吉田委員の立ち合いをお願いいたします。
投票用紙集計のため、暫時休憩いたします。

(暫時休憩)

教育長 再開いたします。
それでは、種目「保健体育」について、投票用紙の集計結果報告と採択本の決定を行います。
教育総務課長より、集計結果の報告をお願いします。

教育総務課長 それでは、集計結果をご報告申し上げます。
種目「保健体育」でございます。発行者「東京書籍」 2票。発行者「Gakken」 2票。発行者「大修館書店」 1票。以上でございます。

教育長 暫時休憩いたします。

(暫時休憩)

教育長 再開いたします。ただ今の集計結果より、種目「保健体育」につきましては、「東京書籍」と「Gakken」が2票ずつの同数票になりました。冒頭でご説明したとおり、教育長により決定することといたします。
発行者「東京書籍」、書名「新編 新しい保健体育」を採択本といたします。
次に、種目「技術・家庭（技術分野）」について、採択候補本の投票を行います。
事務局より、投票用紙の配付をお願いいたします。

(用紙配付、投票箱の空虚確認)

教育長 投票用紙の記入はお済みでしょうか。
それでは、事務局で投票用紙を回収します。

(投票箱にて回収)

教育長 投票用紙の回収が終わりましたので、事務局で集計をお願いいたします。
集計に際しましては、吉田委員の立ち合いをお願いいたします。
投票用紙集計のため、暫時休憩いたします。

(暫時休憩)

教育長 再開いたします。
それでは、種目「技術・家庭（技術分野）」について、投票用紙の集計結果報告と採択本の決定を行います。

教育総務課長より、集計結果の報告をお願いします。

教育総務課長 それでは、集計結果をご報告申し上げます。
種目「技術・家庭（技術分野）」でございます。発行者「教育図書」 3票。発行者「東京書籍」 2票。以上でございます。

教育長 ただ今の集計結果より、種目「技術・家庭（技術分野）」は、発行者「教育図書」、書名「新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する」を採択本といたします。

次に、種目「技術・家庭（家庭分野）」について、採択候補本の投票を行います。

事務局より、投票用紙の配付をお願いいたします。

（ 用紙配付、投票箱の空虚確認 ）

教育長 投票用紙の記入はお済みでしょうか。
それでは、事務局で投票用紙を回収します。

（ 投票箱にて回収 ）

教育長 投票用紙の回収が終わりましたので、事務局で集計をお願いいたします。
集計に際しましては、吉田委員の立ち合いをお願いいたします。
投票用紙集計のため、暫時休憩いたします。

（ 暫時休憩 ）

教育長 再開いたします。
それでは、種目「技術・家庭（家庭分野）」について、投票用紙の集計結果報告と採択本の決定を行います。
教育総務課長より、集計結果の報告をお願いします。

教育総務課長 それでは、集計結果をご報告申し上げます。
種目「技術・家庭（家庭分野）」でございます。発行者「東京書籍」 4票。発行者「教育図書」 1票。以上でございます。

教育長 ただ今の集計結果より、種目「技術・家庭（家庭分野）」は、発行者「東京書籍」、書名「新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」を採択本といたします。

次に、種目「英語」について、採択候補本の投票を行います。
事務局より、投票用紙の配付をお願いいたします。

(用紙配付、投票箱の空虚確認)

教育長 投票用紙の記入はお済みでしょうか。
それでは、事務局で投票用紙を回収します。

(投票箱にて回収)

教育長 投票用紙の回収が終わりましたので、事務局で集計をお願いいたします。
集計に際しましては、吉田委員の立ち合いをお願いいたします。
投票用紙集計のため、暫時休憩いたします。

(暫時休憩)

教育長 再開いたします。
それでは、種目「英語」について、投票用紙の集計結果報告と採択本の
決定を行います。
教育総務課長より、集計結果の報告をお願いします。

教育総務課長 それでは、集計結果をご報告申し上げます。
種目「英語」でございます。発行者「三省堂」 2票。発行者「東京書籍」
1票。発行者「開隆堂出版」 1票。発行者「教育出版」 1票。以上でござ
います。

教育長 種目「英語」については、冒頭でご説明したとおり、最も票数の多い発
行者1者を採択することといたします。したがって、ただいまの集計結果
より、種目「英語」は、発行者「三省堂」、書名「NEW CROWN English
Series」を採択本といたします。
次に、種目「道徳」について、採択候補本の投票を行います。
事務局より、投票用紙の配付をお願いいたします。

(用紙配付、投票箱の空虚確認)

教育長 投票用紙の記入はお済みでしょうか。
それでは、事務局で投票用紙を回収します。

(投票箱にて回収)

教育長 投票用紙の回収が終わりましたので、事務局で集計をお願いいたします。
集計に際しましては、吉田委員の立ち合いをお願いいたします。
投票用紙集計のため、暫時休憩いたします。

(暫時休憩)

教育長 再開いたします。
それでは、種目「道徳」について、投票用紙の集計結果報告と採択本の
決定を行います。
教育総務課長より、集計結果の報告をお願いします。

教育総務課長 それでは、集計結果をご報告申し上げます。
種目「道徳」でございます。発行者「あかつき教育図書」 3票。発行者
「日本文教出版」 2票。以上でございます。

教育長 ただ今の集計結果より、種目「道徳」は、発行者「あかつき教育図書」、
書名「中学生の道徳」を採択本といたします。
以上で、種目ごとの採択がすべて終わりました。
全体を通してのご意見やご質問がございましたらお願いいたします。

(意見なし)

教育長 ご意見がないようですので、最後に、採択いたしました中学校教科書に
ついて、種目ごとに事務局から報告をお願いいたします。
準備のため、暫時休憩いたします。

(暫時休憩)

教育長 再開いたします。
それでは、教育総務課長から報告願います。

教育総務課長 それでは採択いたしました中学校教科用図書につきまして、種目ごとに
報告させていただきます。

種目「国語」、発行者「教育出版」、書名「伝え合う言葉 中学国語」で
ございます。

種目「書写」、発行者「光村図書出版」、書名「中学書写」でございます。

種目「社会（地理的分野）」、発行者「帝国書院」、書名「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」でございます。

種目「社会（歴史的分野）」、発行者「帝国書院」、書名「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」でございます。

種目「社会（公民的分野）」、発行者「帝国書院」、書名「社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して」でございます。

種目「社会（地図）」、発行者「帝国書院」、書名「中学校社会科地図」でございます。

種目「数学」、発行者「東京書籍」、書名「新編 新しい数学 ～MATH CONNECT 数学のつながり～」でございます。

種目「理科」、発行者「大日本図書」、書名「理科の世界」でございます。

種目「音楽（一般）」、発行者「教育芸術社」、書名「中学生の音楽」でございます。

種目「音楽（器楽合奏）」、発行者「教育芸術社」、書名「中学生の器楽」でございます。

種目「美術」、発行者「開隆堂出版」、書名「美術」でございます。

種目「保健体育」、発行者「東京書籍」、書名「新編 新しい保健体育」でございます。

種目「技術・家庭（技術分野）」、発行者「教育図書」、書名「新 技術・家庭 技術分野」でございます。

種目「技術・家庭（家庭分野）」、発行者「東京書籍」、書名「新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」でございます。

種目「英語」、発行者「三省堂」、書名「NEW CROWN English Series」でございます。

種目「道徳」、発行者「あかつき教育図書」、書名「中学生の道徳」でございます。

以上でございます。

教育長 以上により、日程第5 第35号議案「令和7年度使用稲城市立中学校教科用図書の採択について」は、可決いたしました。

終わりに、教育委員会を代表し、改めまして、今回の教科書採択に向けご尽力いただきました、教科用図書審議会、調査研究委員会の皆様方、また、さまざまなご意見をいただきました学識経験者、保護者、生徒、市民の皆様に、心より感謝申し上げます。

関係の皆様に、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げ、お礼と

いたします。

ここで暫時休憩といたします。再開を15時15分といたします。

(暫時休憩)

教育長 再開します。次に、日程第6 第36議案「令和7年度使用稲城市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について」を議題といたします。

本案につきましては、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律及び同法施行令並びに学校教育法施行規則の規定により、令和7年度使用稲城市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択替えを行う必要があるもので、提出するものです。

なお、本日出席の私及び各教育委員におきましては、「令和7年度使用稲城市立小・中学校特別支援学級教科用図書採択要領『6留意事項(2)次の各項に該当する者は採択に関わることができない。』」との規定の対象ではないことを確認済みであります。

詳細につきましては、指導課長より説明いたします。

指導課長。

指導課長 それでは、令和7年度使用稲城市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択につきまして、ご説明申し上げます。

それでは、議案概要説明書2ページをご覧ください。

令和7年度に稲城市立小・中学校で特別支援学級で使用する教科書について、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条及び同法施行令第14条並びに学校教育法施行規則第139条の規定により、通常の学級で使用する教科書を使用することが適当でないときは、ほかの適切な教科書を採択することができます。

このため、令和7年度、特別支援学級において使用する教科書を採択するものです。

本年5月に特別支援学級教科用図書審議会に諮問し、稲城市立小・中学校特別支援学級教科用図書採択要領に基づき、教科用図書審議会、調査研究委員会、それぞれで協議及び研究を行いました。

各校の調査研究委員会における調査・研究の結果、小・中学校の全ての種目について、通常の学級において採択している教科用図書と同一のものが、本市の特別支援学級の教科用図書にふさわしいという旨の答申をいただいたものでございます。

本答申を踏まえ、令和7年度使用稲城市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択につきまして、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

説明は以上でございます。

教育長 以上により提案理由の詳細説明が終わりましたので、これより質疑及びご意見をお願いいたします。いかがでしょうか。

北川委員。

北川委員 今回の特別支援学級教科用図書の調査研究委員会では、どのように調査を行ったのでしょうか。

教育長 指導課長。

指導課長 稲城市の各校特別支援学級の現状における学校での使用状況や児童・生徒の実態に照らして、通常の学級で使用する文部科学省検定済教科書、また特別支援学級で使用するよう作成された文部科学省著作教科書、または一般図書からどのような教科書が合っているのかを慎重に調査をいたしました。

この調査を踏まえまして、小学校においては、現在使用している教科用図書を中心に、また、中学校におきましては、令和7年度使用の教科用図書見本を中心に、各学校において調査研究を行いました。調査研究の項目としては、内容の選択、構成・分量、表記・表現、使用上の便宜等について、通常の学級で使用している教科用図書を特別支援学級で使用するものの利点や課題について、調査研究を行いました。

以上でございます。

教育長 そのほかいかがでしょうか。

三戸委員。

三戸委員 審議会からは、通常の学級で使用している教科用図書を使用することが望ましいとの答申がありましたが、事務局として、その点について、どのような見解をお持ちでしょうか。

教育長 指導課長。

指導課長 事務局といたしましては、各学校においては、児童・生徒の個別最適な学びの充実を図り、児童・生徒個々の状況により個別の教材を使用しておりますが、通常の学級で使用している教科用図書の情報量の豊富さや、二次元コードを使用したデジタルコンテンツの視聴、また、通常の学級との交流活動における使用等を踏まえまして、特別支援学級においても、通常の学級で使用している教科用図書を使用することの利点は多いと考えてお

ります。

以上でございます。

教育長 ほかにいかがでしょうか。

吉田委員。

吉田委員 同じ学年のものを使用することでの課題はありますでしょうか。

教育長 指導課長。

指導課長 同じ学年のものを使用することでの課題につきましては、特別支援学級では、教科等によって通常の学級で使用している同じ学年の教科用図書の内容を扱うこともあれば、また、児童・生徒の学習状況に応じて、下学年の教科用図書を使用する等柔軟に取り扱っている点において、特に課題については学校のほうからの意見はございません。

以上でございます。

教育長 ほかにいかがですか。

白井委員。

白井委員 保護者や教員の方からの意見としては、どのようなものがありますか。

教育長 指導課長。

指導課長 保護者の方々のご意見の中では、「通常の学級と同じ教科用図書を使用することで学習の機会を保障し、学習の内容の質を高めてほしい」とか、「通常の学級との交流学习を進めるために、同じ教科用図書であることが望ましい」、また、「進学に向けて、通常の学級と同じ教科書で学習したい」等のご意見が多くございます。

また、特別支援学級の教員からは、「通常の学級と同じ教科書を使用することで、日々の教材研究や校内研究等において、通常の学級と共有できることが多い」という意見もございました。

以上でございます。

教育長 ほかにいかがでしょうか。

(なしの声あり)

教育長 それでは、私からも質問と意見を申し述べたいと思います。

まず、事務局に質問です。特別支援学級教科用図書採択につきましては、本市の特別支援学級に学ぶ児童・生徒が、特別支援学級における学習の際の主たる教材として、どの教科用図書がふさわしいかとの視点が最も大切であると考えます。本市では令和6年度は通常学級と同じ教科書を使用しているわけですが、これまでの授業観察等から、特別支援学級においてどのように使用されているかを伺います。

指導課長。

指導課長 これまでの特別支援学級での授業観察等から、例えば、小学校においては、国語の教科書を使用して詩や物語文の朗読をしたり、また、道徳の教科書にある教材を参考にして、役割演技等の体験的な活動を行ったりする際に教科書を使用しているという状況がございました。

また、中学校では、世界や日本の地理的特徴を理解するために、社会科の教科書や、または地図帳を使用する場面、また、音楽や美術の時間において、教科書を参考にして活動を行う等、様々な場面で教科書を使用している実態がございます。

以上でございます。

教育長 ありがとうございます。今のご説明を踏まえながら、意見を一つ申し上げたいと思います。

現在の稲城市立学校での特別支援学級における個別最適な学びの充実、さらに協働的な学びの充実を推進できるように、また、担任の先生方を中心とした創意工夫ある教育活動の充実を図るには、汎用的な活用ができる通常学級と同じ教科書を、主たる教材として使用することが望ましいと私は考えます。

以上でございます。

ほかにご意見等はいかがでしょうか。

(なしの声あり)

教育長 それでは、以上で質疑、ご意見を終結いたします。

これより、第36号議案「令和7年度使用稲城市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について」を採決いたします。

小学校及び中学校、個々の教科用図書の採択について、採択の可否を確認いたします。

はじめに、小学校の教科用図書について採決いたします。

検定教科書、一般図書もしくは文部科学省著作教科書とするかどうかにか

ついて採決いたします。検定教科書とする方は、挙手願います。

(挙手全員)

教育長 ただいまの結果、検定教科書とする、が挙手全員でありました。よって、小学校につきましては、検定教科書となりました。

次に、学年相当の検定教科書とするか、学年相当に限らないかについて採決いたします。学年相当の検定教科書とする方は、挙手願います。

(挙手全員)

教育長 ただいまの結果、学年相当の検定教科書とする、が挙手全員でありました。よって、小学校につきましては、学年相当の検定教科書とすることとなりました。

続きまして、中学校の教科用図書採決を行います。

検定教科書、一般図書もしくは文部科学省著作教科書とするかどうかについて採決いたします。検定教科書とする方は、挙手願います。

(挙手全員)

教育長 ただいまの結果、検定教科書とする、が挙手全員でありました。よって、中学校につきましては、検定教科書となりました。

次に、学年相当の検定教科書とするか、学年相当に限らないかについて採決いたします。学年相当の検定教科書とする方は、挙手願います。

(挙手全員)

教育長 ただいまの結果、学年相当の検定教科書とする、が挙手全員でありました。よって、中学校につきましては、学年相当の検定教科書とすることとなりました。

以上により、第36号議案「令和7年度使用稲城市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について」は、小学校、中学校ともに、学年相当の検定教科書を採択することといたします。

以上で本日の議事日程は全て終了いたしました。

これにて閉会といたします。

(午後3時27分閉会)